

8

AUGUST
2012



こ

が

古河

広
報

No.83

今月の特集

- ラムサール条約登録 2
- 行政改革大綱 4
- 災害に備えて 6
- 農業委員会 10

まちの話題

- とうもろこし収穫体験等 12

渡良瀬遊水地が



ラムサール条約登録!



7月3日に古河市の北西側に位置する渡良瀬遊水地が、湿地の保存に関する国際条約であり、特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(通称ラムサール条約)の登録湿地となりました。

今回、渡良瀬遊水地の他8カ所が新たに登録され、日本全体では46カ所となりました。また、県内では初の登録となります。

【問】総和庁舎(本庁) 企画課 ☎92-3111

○ラムサール条約とは

地球と人間と生き物たちにとって不可欠な生態系である湿地の保全と、ワイズユース(賢明な利用)を進める条約であり、その登録に当たっては国際的に重要な湿地であることが条件となっています。モン・サン=ミシエル(フランス)、レマン湖(スイス・フランス)、チチカカ湖(ボリビア・ペルー)などが登録されています。

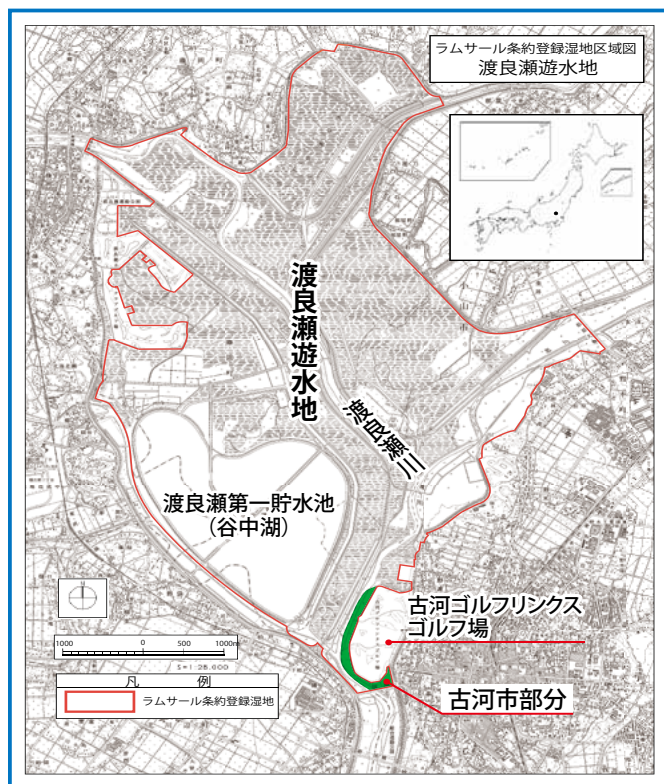
○広大な渡良瀬遊水地

総面積3,300ヘクタール、700種以上の豊富な植物が生育する日本を代表する湿原です。また、古河市を含む周辺地域だけにとどまらず、首都圏住民の生命や財産を洪水から守る治水の要でもあります。洪水調節、都市用水の確保、流水の正常な機能の維持等利水の面でも重要な拠点です。



渡良瀬遊水地ラムサール条約登録湿地

総面積3,300ヘクタールの渡良瀬遊水地で、登録されたのは2,861ヘクタール。うち19ヘクタールが古河市にあります。



国際的に重要な湿地 県内初登録

◯貴重な動植物が生息

以前より、渡良瀬遊水地は貴重な動植物が生息する場としてラムサール条約への登録が検討されてきました。一方で、市民の皆さんの安心安全を守るためにも、治水機能を確保することが必要不可欠であり、そのバランスをどのように取ればよいのか、周辺市町だけでなく、国等も交えて検討した結果、河川法と鳥獣保護法という二つの法律で守ることとなりました。



▲季節ごとにいろいろな顔を見せてくれています



◀治水機能が確保された広大な渡良瀬遊水地

◯ワイズユース

ラムサール条約の目的であるワイズユースとは、湿地の生態系を損なわずに持続的に利用することであり、環境保全や治水等に加えて観光資源としての活用等も含まれます。



▲湿地環境の保全のために行われるヨシ焼き

◯地域の活性化に期待

～皆さんも渡良瀬遊水地へ足を運んでみてください～

古河市は渡良瀬遊水地への玄関口として、遊水地だけではなく古河花火大会をはじめとした各種イベントや、観光自転車コガッツの利用、歴史・文化資源に触れていただくことで、市の魅力を知っていただく機会を創出するとともに、周辺市町による共同の取り組みを進めることで、地域の活性化につながることを期待しています。



▲熱気球のメッカでもあります



◀観光自転車コガッツは花桃館駅西店で貸し出しをしています



▲春には花桃ウォーク、秋にはI LOVE 谷中湖マラソンが行われ多くの参加があります



▲関東最大規模の古河花火大会。今年は8月4日(土)に三尺玉3発、総数2万5000発が盛大に打ち上げられます

第2次古河市行政改革大綱 平成23年度実績報告

行政改革の基本理念『風格と希望に満ちた“いきいき古河”』

平成24年5月30日に開かれた『古河市行政改革推進委員会』において、「第2次古河市行政改革大綱平成23年度実績報告」を行いました。各委員からいただいた意見・要望は各課の業務に反映させ、より良い行政サービスの提供に努めていきます。ここでは推進結果の概要についてお知らせしますが、詳細につきましては市公式ホームページにてご覧になれます。

【問】総和庁舎(本庁) 行政管理室 ☎92-3111

重点指標 1 財源の確保

地方交付税や税収の確保および職員の人件費削減などに取り組んだ結果、基準年度である平成20年度と比較して、財源は『24億円』増加となりました。

この財源を活用して、市民生活の充実・市民サービスの向上・市の発展に向けた事業を実施しました。

財源を活用した主な実施事業(抜粋)

- ・被災公共施設復旧、がれき処理
- ・地域づくり活動支援
- ・観光拠点整備

▶新たな観光拠点ともいえる「坂長」



●合併優遇措置の活用(合併特例債)

有利な借入れ制度を活用し、生活基盤や安全対策などの整備を行いました。

合併特例債を活用した主な実施事業(抜粋)

- ・耐震補強実施設計および工事
- ・三和庁舎バス待合所整備
- ・公園整備

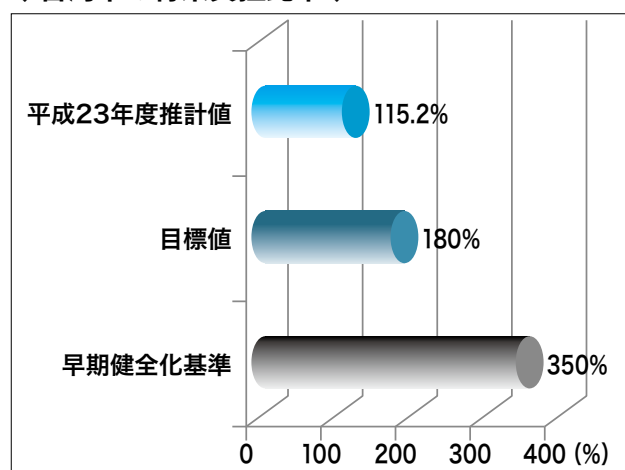
▶2月にオープンした「三和庁舎バス待合所」



重点指標 2 健全財政の確立

『将来負担比率』は、財政の健全化を表す指標で、市の目標は180%以内です。平成23年度将来負担比率の推計値は115.2%で目標値180%よりも低くなっています(早期健全化の基準は350%です)。

◇古河市の将来負担比率◇



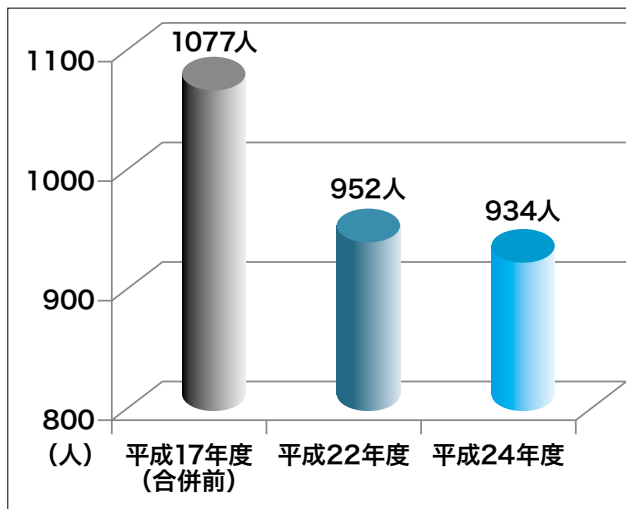
※家計に例えると「1年間の給料」に対して「何倍の借金」があるか表します。例えば、将来負担比率350%になると、年収300万円で1,050万円の借金があることと同じで危険な財政状況です。

重点指標3 職員定数の抑制

平成24年4月1日現在の職員数は、平成24年度の目標941人以内を達成して934人となり、平成17年(合併前)と比較すると143人の削減、人件費は約10億円削減されました。

今後も組織機構や事務事業の効率化を進め、サービスの低下を招くことのない職員定数の適正化に努めます。

◇職員数の推移◇



施策別推進結果(抜粋)

●企業誘致の推進

日野自動車(株)やその関連企業の従業員の市内定住促進のため、ガイドブックやPRプロモーションを作成・配付して古河市の魅力をアピールしました。

●男女共同参画の推進

各会議での検討・答申を経て、平成24年度から28年度までの「男女共同参画プラン後期実施計画」を策定しました。

●業務目標制度の確立

人事評価システムを本格的に導入し、組織目標・業務目標の達成度について1年間の総括的評価を行いました。



▶古河市は男女共同参画を推進しています

行政改革推進委員からの主な意見

《行財政力の向上》

日野自動車のKD工場が完成した。今後は関連企業の誘致や従業員の古河市定住促進のための施策を充実させるよう望む。

《市民満足度の向上》

市民サービスアンケート内容の充実を図り、年2回程度実施して、市民の評価・意見をよりの確に把握するよう努められたい。

《市民参画の促進》

行政と市民の協働を進めるにあたり、各部署で連携し、市民の自主性を、より尊重することを望む。



風水害などに備えて… ～備えあれば憂いなし～

大雨・台風の季節がやってきました。たびたび台風が接近すれば、大きな被害が発生する恐れがあります。災害はいつどんな形でやってくるのかわかりません。いざという時に落ち着いて行動できるように、日頃から災害情報を確認するなど心構えをしておきましょう。【問】総和庁舎(本庁) 危機管理課 ☎92-3111

◆台風が近づいた時や 大雨が降りつづいたら

～テレビ・ラジオ等で最新の情報を入手しましょう～

近年では、「地球温暖化による洪水リスクの増加」や「最大60センチメートルの海面上昇」が裏付けるように、世界的に大規模水害が多発していて、わが国においても、集中豪雨の発生頻度が増加傾向にあります。

内閣府は200年に一度と言われる「*カスリーン台風」が再来した場合、現在の河川治水能力でも、利根川も荒川も氾濫する恐れがあると公表しています。万一の場合の風水害に備えましょう。

～避難率を高めれば人的被害は限りなくゼロに近づきます～

風水害の場合、地震災害とは異なり、避難のための時間的余裕が見込めます。市などからの情報に注意しましょう。

※昭和22年台風第9号(国際名カスリーン)。関東地方や東北地方に大きな災害をもたらした台風で、死者が1,077人、利根川堤防が破堤し、大洪水になった。

◆避難情報が発信されたら

避難準備情報…高齢者・障害者・子どもは早めに避難させましょう。

避難勧告…慌てずに落ち着いて、お互いに助けあって安全な避難所に速やかに避難を始めましょう。

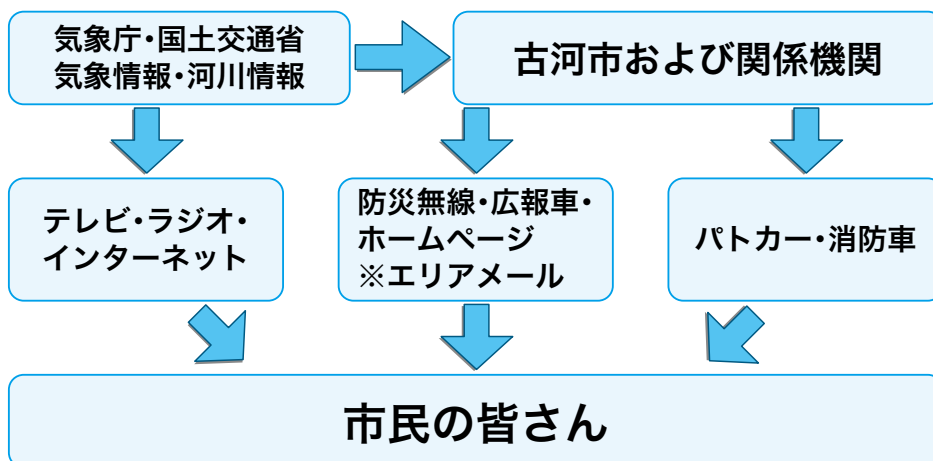
避難指示…安全な場所にただちに避難しましょう。

普段から非常持ち出し品の準備を

- 貴重品…現金・預金通帳・印鑑・健康保険証・運転免許証など
- 食糧等…飲料水・乾パンやクラッカー・レトルト食品・米・はし・ナイフ・皿・コップ・ラップなど
★最低3日分は用意しておきましょう！
★飲料水は、1人1日およそ3リットルを目安にします
- 医薬品…救急医薬品・常備薬・マスクなど
- 衣類等…下着・タオル・雨具・着替えなど
- その他…懐中電灯・ラジオ・乾電池・マッチ・ライター・ろうそく・紙おむつ・洗面用具・ティッシュ・毛布・軍手・ロープ・使い捨てカイロ・笛など

9月1日は「防災の日」 8月30日から9月5日は「防災週間」です！

○避難情報の伝達方法○



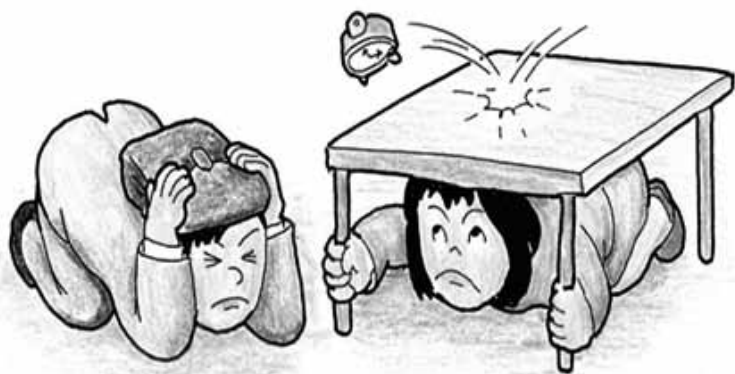
携帯電話にこんな情報が届いた
ことはありませんか

※「エリアメール」

5月1日から「NTTドコモ」、6月1日から「au」「ソフトバンク」の携帯電話およびスマートフォン(非対応機種を除く)に気象情報・警戒情報・避難情報等をお知らせしています。

携帯電話購入時に、受信設定が「ON」に設定されている機種もありますが、お使いの携帯電話がサービスに対応しているかは、「NTTドコモホームページ」「KDDIホームページ」「ソフトバンクホームページ」でご確認ください。

地震が発生したら とにかく「あわてないで」

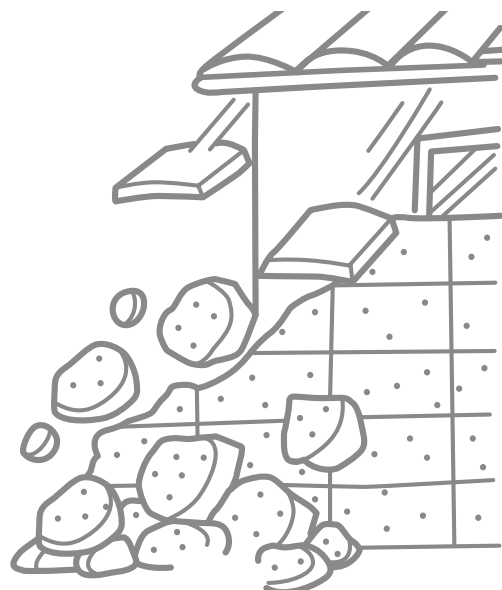
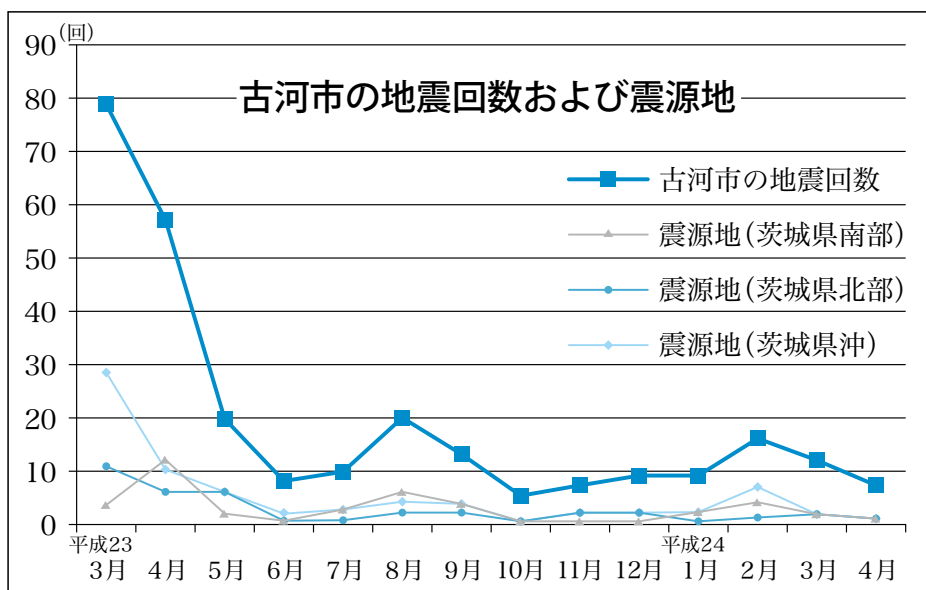


現在も茨城県南西部のやや深い場所では、定常的に地震活動が活発です。突然発生する地震に備えましょう。

まずは自分の身を守ってください。

■古河市地震回数および震源地

東日本大震災以降の地震回数を震源地別に表しています。8月と2月に地震の回数が増加し、震源地では茨城県北部に比べ南部を震源とする地震の割合が多い傾向にあります。



■自主防災組織の活動が大切です！

- 1 自 助 自分の命は自分で守る
- 2 共 助 近所の皆さんと声を掛け合い助け合う
- 3 公 助 消防署・市役所からの救助

○突発した災害時に最も救助・救出に効果が上がるグループは被災者自身であって、ご近所同士の「協力・共働」が一番、「救出・救助」の効果が上がります。

○「消防署も市役所も来ていない時に声を掛け合い、隣人の災害を自分のものと捉え、自分自身や家族にできることから始める。」これが地域の防災力です。

○地域における自主的な防災活動が大切です。災害の備え等について、地域の防災力の向上のために危機管理課職員による出前講座を実施していますので、ぜひ、お申し込みください。

みんなで協力して安心安全を！



■出前講座の内容は……

- ・自主防災組織って何をすればいいの？
- ・自主防災育成事業って？
- ・災害が起きたらどうするの？
- ・何を備えたらいいのかしら？ など



▲7月11日に古河福祉の森会館で行われた出前講座

出前講座に参加してきました！

災害に対する市の現状や、今私たちが備えておくべきことをお聞きしました。手話サークルということで、耳が聞こえない人にも分かりやすいように映像を含めて分かる工夫をしながら話してもらい、ありがとうございました。身の周りの備えを改めて見直し、いざ災害が起きた時に、一人一人がどう行動したら良いかを考える機会となりました。今後も情報を得にくい高齢者や障害者に多くの情報を届けてくださいますようお願いいたします。



▲手話の会はなもも・南澤るり子さん

◆平成24年度 古河市地域防災訓練が 行われます

日 時：10月28日(日)午前8時～
場 所：古河第四小学校

ご家族・ご近所お誘いあわせのうえ
参加してください



市民の食料と農地・環境を守る農業委員会



農業委員会とは、法律によって市町村に設置される行政委員会の一つです。古河市農業委員会は、公職選挙法を準用した選挙によって選ばれた23人と関係団体の推薦により市長が選んだ7人、計30人で構成される公的に認められた唯一の農業・農業者の代表機関です。

【問】三和庁舎 農業委員会 ☎76-1511

いばらき女性農業委員の会、研修会の様子

■農業委員会の主な業務

〔法令業務〕

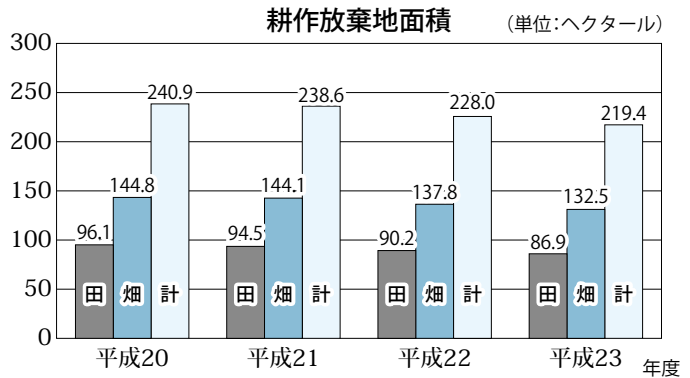
- 農地法に基づく農地の権利移動や農地転用の許可業務
- 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定業務
- 農業者年金の業務など

〔任意業務〕

- 農地等の利用調整に関する業務
- 農業および農業者に関する事項の啓発・宣伝業務など

■農地パトロール(利用状況調査)

農業委員会では、活動の一環として継続的に「農地パトロール」に取り組んでいます。「農地パトロール」は、①遊休農地の実態把握と発生防止・解消対策、②農地の違反転用発生防止対策等について重点的に取り組むことを目的にしています。また、市内のすべての農地の利用状況について調査する「利用状況調査」さらに、市内の耕作放棄地について状況を把握する「耕作放棄地全体調査」も実施しています。



◆女性ならではの視点に立って…

農業委員の推薦を受けてから早いもので1年がたちました。わが家は主人と2人で米作りをしていて、少なからず農家の大変さは、分かっているつもりでしたが、農業委員としてのこの1年、近隣市町村の女性農業委員の人との交流を通し、さまざまな刺激を受けました。そして、女性としての役割・女性の力の偉大さを再確認いたしました。仕事と家庭だけでなく、女性ならではの視点を生かし、古河市初の女性農業委員として、子どもたちの未来の発展のため、市の農業のためにがんばってまいります。

古河市農業委員会委員 靄見久美子

農業委員レポート



■ニガウリの銘柄指定産地を目指して

茨城むつみ三和地区野菜生産部会のニガウリ部は、若い後継者を中心に31人がニガウリの栽培に取り組み、主に京浜市場に出荷して、昨年、茨城県から銘柄推進品目に指定されました。

栽培履歴の記帳により、安全・安心な出荷を図ることはもとより、他産地との差別化のため「惚ろにがうり」との愛称をもって、消費宣伝など販売促進活動に力をいれ、銘柄指定産地を目指して、生産者全員取り組みを強化して行きたいとのことでした。



■酪農家を訪ねる

酪農家は、1年中休みなく乳牛と付き合っています。古河市では、現在、14戸の酪農家があります。



健康状態を観察し飼料を与え牛ふんや牛舎の清掃・衛生管理に努め、搾乳は毎日朝晩行い、飼料にするトウモロコシや牧草の作付け、人工授精等もし、多種多様な農耕機械を操作・修繕までしてしまう。酪農家はすごい！と感じました。

消費者に安心・安全な牛乳を提供するため、緊張感と誇りを持ち、日々惜しまない努力が伺えました。

■注目、6人の後継者

深刻な後継者難の農業。国も地方もこの解消に手をつくし、「人・農地プラン」を進めています。

古河市も高齢化と農業離れが年々進み、耕作放棄地も増える傾向でしたが、古河地区で6人の後継者が生まれ話題になっています。

一番若いAさん夫妻は、奥さんの実家の農業を継ぐ決意をし、稲作、野菜などの栽培と直売に取り組んでいます。Bさんも15年勤めた種苗会社を退職後、稲作・キュウリのハウス栽培に。同じくCさんも両親と一緒に汗を流しています。Dさんは、父と祖父の3代で稲作中心の農業に。Eさんは、「茨城営農塾」に通うなどして、学びながら耕作放棄地の解消に力を尽くしています。



まちの話題

こんなに取れました！ とうもろこし収穫体験

7月14日、食遊三和主催の食育講座「とうもろこし収穫体験」が山田地内の畑で開催され、小学生以下の親子45人が参加し、楽しみにしていた収穫の体験をしました。当日、子どもたちは大きなとうもろこしが取れるたびに、歓声をあげて大喜び。その後、取ったばかりのとうもろこしを蒸したり、焼いたりして、新鮮なおいしさも体験。おなかもいっぱいになり、満足した一日になりました。



▲取れたてのとうもろこしの味は格別でした

健康つくりトレッキング

「体力健康つくりトレッキング(軽登山)」が7月8日、古河市スポーツ推進委員の主管のもと栃木県那須町で行われました。

当日は、天候に恵まれ、絶好の登山日和となりました。参加した92人は、那須茶臼岳をスタートし、沼原湿原をゴールとするコースを、日常ではなかなか味わえない自然の素晴らしさに触れながら約4時間、休憩を挟みながら、楽しく元気に歩いてきました。



▲四季の花々や山の香りに触れながら楽しく体力づくりができました

楽しかった初めての タグラグビー

6月30日、日野自動車(株)のラグビー部員13人が、名崎小で、タグラグビー教室を開催しました。当日、参加した同校の児童26人は、ラグビー選手からタックルの代わりに腰に着けたタグ(札)を奪う安全なラグビーの手ほどきを受けました。最初は慣れないルールにとまどいながらも、鬼ごっこの感覚で運動場を走り回り、最後は実際のボールを使ったミニゲームで楽しそうに汗を流していました。



▲初めての体験に「面白かった」との声が聞こえてきました

高齢者叙勲

瑞宝双光章



佐藤満さん(88歳、長谷町)
元古河二中学校長

全国大会出場

○第23回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会・宮下真侑さん(総和中)○第31回全日本クラブ卓球選手権大会・SPC<柿沼寛さん・神長健さん・三田賢一さん・上竹節さん・小久保和雄さん・高橋進さん・関根政雄さん>○第32回全日本小学生バレーボール大会・古河ますらお、大和田V S C○第28回わんぱく相撲全国大会・鳴海尚樹さん(古河市相撲連盟)○第30回全日本小・中学生女子個人選抜剣道錬成大会・落合颯生さん(総和剣道クラブ)○第20回全国中学生空手道選手権大会・土堂彩香さん(総和空手道)

日々新たなり

～古河の自慢
「夜空に咲く大輪の花」～

古河市長 白戸仲久

社会を明るくする運動

社会を明るくする運動は、すべての国民が犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、毎年7月を強化月間として各地でさまざまな取り組みを行っています。

市でも、保護司会と厚生保護女性会の皆さんが、市内のスーパーなどでチラシなどを配りながら、啓発活動を実施して、犯罪や非行の防止を呼びかけました。

私たち一人一人ができることから行動して、犯罪や非行のない社会を築いていきましょう。



▲法務省が主唱する社会を明るくする運動は今年で62回目になります



▲市内のスーパー等でうちわやチラシを配って啓発活動をしました

毎年、テレビでも放映される隅田川の花火大会。この有名な花火大会は、1732年に関西地方がききんに見舞われ、江戸においても伝染病(コレラ)が流行し多くの命が失われ、その翌年の1733年に当時の将軍・吉宗は犠牲となった人々の慰霊と悪病退散を祈り隅田川で水神祭を行い、この時に花火を上げたことが由来とされています。

病などによって亡くなられた尊い命を弔うために花火を上げるなんて、粋な將軍様だと思いませんか。一瞬に咲いては消えていく花火、あざやかな光を見るたびに故人をしのび、また、明日からの英気を養ったことでしょう。

古河市においても、8月の第一土曜日には花火大会があります。今回も三尺玉を3発、打ち上げ総数は2万5000発と関東最大規模であり、古河の自慢の一つです。

古河の花火大会の次はお盆です。この時に庭先で花火などはいかがでしょう。静かに瞬く花火を囲み、ご先祖様をしのびませんか。そして、終戦の日があります。戦争について語れる人は年々少なくなっていますが、かつて、お国のためにと命を落と

された多くの兵隊さんがいました。現代の日本では、痛ましい事件や事故を除けば、人の命を奪う戦いということがピンとこないくらい平和に世の中は動いています。

戦後の焼け野原から再生に立ち上がり世界に名を轟かせた日本人、必死に働いてきた多くの先人たちがいたからこそ今の時代があるのです。たくさんの人々に笑顔と感動をもたらした、昭和の東京タワー、平成のスカイツリーなど歴史に残る建造物は、その象徴ではないでしょうか。

市政において目先の充実も大切なことです。種をまいてすぐ咲く花もあれば、花や実を付けるまでに何年もかかるものもあります。「あの時に種をまいてもらって良かった」と後世に言ってもらえるようなことを私は手掛けていきたいと思います。



キラッ! 輝く人たち

日本民謡は、日本各地で民衆の生活の中で生まれ、うたい継がれてきた歌であり、楽典に則りつくられたものではありません。拍子等、多くが不規則なものとなっています。しかし、古くから、人々の心の中にあつた日本民謡は、どこか私たちの心を強く打つものがあります。ゆっくりとしたテンポの歌、さびしい曲調の民謡、素朴な曲、そして、陽気な民謡。そんな独特である伝統を残していきたいと話す初見さんにお話を聞きました。

懐かしい思い出

小さい頃にお母さんが吹いていた口笛の音色が素晴らしく、大きくなったら自分できれいな音色を出したいな～と漠然と思っていたことが今でも鮮明に残っています。そんな記憶にぴったりとあつた民謡との出会いは40年前、歌がうまくなりた一心で仕事の合間を見つけ、東京の深川(江東区)の師匠の所へ稽古に通いました。

当時は空前の民謡ブーム。歌が大好きな初見さんは、覚えないうでいくと他のお弟子さんに追いかけてしまう緊張感の中、必死に努力を続けました。

奥が深いのが魅力

「民謡は伝統的で奥が深いもの」と話す初見さん。また歌を聴くとその人の気持ちが分かる

「伝統を守っていきたい」

日本郷土民謡協会指導員

初見 はつみ 金一さん(70歳 谷貝)



こともあるとか。師匠から三味線の技術も習得していて、現在は日本郷土民謡協会の指導員として全国を飛び回っています。そんな初見さんが、かつて、自ら出場した全国大会で、日本武道館の大舞台で大勢を前に披露した時、「全国には、うまい人がいるな～」とそれぞれが歌う故郷の民謡を聞いて感じたそうです。また、大勢の前で歌う方がやりやすかったと。さらに、今まで歌ってみて、自分が「今日はよくできたと思ったことがない。」のも大きな魅力なのだそうです。

伝えていきたい

現在、地元のお弟子さんは30人。民謡が好きな人がいるのが大きな励みで、週に4回ほど足を運んで指導しています。あいさつだけは忘れないように、ま

た、その人にあつた歌を選んで教えています。そして、地元根付いてきた民謡は残していきたい気持ちがよりいっそう強くなっています。

振り返ってみると、「民謡をこれまでやってきてよかった。これからもやっていきたい」と感じている初見さんは、今年の夏も、地元「ふきの芽会」の盆踊りなどで、得意の「古河甚句」を披露してくれます。



図書館のオススメ

◇一般書

・東京23区おみやげさんぽ

たかはしみき 著

独特なカラーをもった街が集まった東京には、たくさんの名物がある。そんな東京23区の街を歩いてみつけた、おみやげとお店と街あるきをカラーイラストとともにレポートする。

出版社…ダイヤモンド・ビック社 分類…596

・親バカってすばらしい!

陰山英男 著

子育てのストライクゾーンはあんがい広い。子育てに不安や悩みを抱えているママたちのために、子育て期の考え方、子ど

もたちへ伝えたい人生の基本、ストレス回避法などを、マンガを交えてやさしく伝える。

出版社…講談社 分類…379



◇児童書

・亡霊の時間割

加藤一 作・石清水さやか 絵

コックリさんのおそなえ、探検気分がまねいたピンチ、謎の赤いボタンを押した結末…。校舎の裏でだれかがささやく怪談&都市伝説全47本を収録。

出版社…あかね書房

分類…913

・よろしくともだち

内田麟太郎 作・隆矢なな 絵

コダヌキはキツネたちと遊びたいのだけれど、オオカミが怖くてなかなか仲間に入れません。それを知ったオオカミは落ち込み、笑顔の練習をするのですが…。

出版社…偕成社

分類…E

ユースセンター総和図書室

注目企業人!

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～

「毎日が未知への挑戦」

佐々木宗昭さん 27歳・鴻巣 三桜工業(株) 勤務

高校時代に1年間、カナダに留学した経験があり、いつかは海外で働きたいと思っていたそうです。今の会社を選んだのも、グローバルな事業を展開していて、海外で働く体制が整っているからとのこと。

現在は、社内業務改善のためのシステム開発業務に携わっています。職場は、面倒見がよく、温かい人ばかり。「現在の業務内容は主に理系の分野。もともとは文系出身のため、全く知らないことを一から勉強して、新たな知識や技術を身に付けることが一番のやりがい」と話す佐々木さん。

モットーは、「守破離(しゅはり)」。基本

を大切にしながらも、なるべく前例や習慣にはとらわれず、常に工夫することを心掛けています。「今後は、もっと勉強をして、職場の先輩方の知識に早く追いつきたい」と熱い思いを話してくれました。

■プロフィール

東京都出身の入社5年目。趣味は山登りで、「テントを張って山に泊まることもあります」と佐々木さん。愛車の走行距離は、毎年2万5,000kmを超えるとか。



古河ヒストリー

◎雷除けの話

昭和62年4月に上大野のSさんのお宅を訪ねたとき、当時76歳のご当主が自宅の裏を案内してくださり、稲荷さまの前で立ち止まってこう語った。「毎年1月14日に、ヌルテの木で箸を17膳こしらえんだ。その先っぽは割り箸みたいに割れ目を入れるんだ。それで15日の朝、小豆粥あずきかきを作って、その箸の先をつけるんだ。粥があんまりつきすぎないようにしてね。その箸はウチん中のいろんな神さまにあげんだけど、20日になるとみんなとりまとめて、稲荷さまにあげんだ。」

今月は、何を書こうかと考えていたら、昨夜の雷雨。鬼みたいなものが太鼓を連ねたものを背負い、風の神とタッグを組んで、今にも飛び出して来そうな屏風絵びょうぶゑもあります。光ればゴロゴロというものに対して、誰かが雲の上で何かやっていたと考えなければ、自然界など説明できなかつたのでしょうか。だから、ときどきは、雲から落ちてきたというヤツもいる。雷獣らいじゆうとやらです。写真は寛政3(1791)年6月20日に京都のあるお寺で落雷の後、台所の柱で発見された

雷獣の爪。爪そのものは真珠のようであったといい、狸たぬきの毛のようなものもついていたようです。この生き物(?)がなんなのかという詮索はいたしません。とにかく雷の何かが、そこに現れたのだと考えられたのです。

ときおり雷は、火災をまねいたり、人を感電させたりします。そんな雷は、なるべくなら避けたいもの。わたしたちは、長い歴史のなかで、まじないをもってこれに対処してきました。たとえば、古河にもあちこちありますが、雷電神社への祈願。板倉町の雷電神社では、電力会社の絵馬も奉納され、雷除けの御

札も出しています。蚊帳かやに入るなんてこともあります。ただし麻を使ったものに限ります。桑の木の枝をさしておくとも良いところもあるようですが、できすぎた話では、それに加えて薔薇ばらの枝も、なんてところも(「くわばらくわばら」)。わたくしが直接うかがった、冒頭のSさんの話の続きに「その箸のことをケユバシけいよまし(粥箸)っていうんだが、雷様が鳴ったとき、イロリいろりでそれを燃すと、雷除けになんだよ」と。

雷除けに効果がある避雷針が考えられる以前は、まじないも知識のうち。目に見えないさまざまな力を借りて、可能なかぎりの努力はしていたのです。

こんなことを書いていて、子どもの頃の落雷を思い出しました。そういえば、子どもの頃は、避けきれない雷も多く、よく落ちたもんだと。どこにって? そいつはデキのよくない頭の上に、ちよくちよくと。悪ガキだったもので、それはしょうがないとしても、こればかりは、遺伝しなければよいと思う毎日である。



雲から落ちてきたという雷獣の爪

古河歴史博物館学芸員 立石尚之

文化の扉

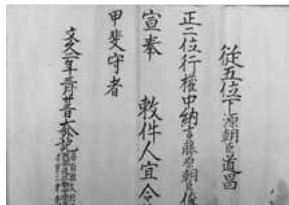
幕末の能吏

～福田甲斐守道昌～

享保10(1725)年の飯沼新田開発の際、長左衛門新田(現：古河市長左衛門新田)を成立させ、名主福田長左衛門家の祖となった福田長左衛門政賢は、下野国都賀郡間中村(現：小山市間中)福田左京政重の子です。それより約100年後、間中村福田家から今度は旗本福田八郎右衛門家が誕生します。

初代八郎右衛門道昌の父、福田本左衛門は仕官のため江戸へ出府しますがかなわず、子の道昌が文政11(1828)年に普請役格美濃郡代手附として幕府へ新規召抱となります。当初は家格の低い御家人でしたが、諸役職を経て天保13(1842)年には、永々御目見以上(将軍に拝謁できる身分)の旗本へと家格を上昇させます。さらに安政4(1857)年には重要ポストの勘定吟味役(江戸幕府財務監査官)に就任し、幕末の混

乱期に小筒製造・砲薬製所建設や江戸城本丸御殿普請・日光東照宮修復などでその才能を発揮し、たびたび黄金・時服などの褒美を賜ります。そして、召抱より34年後の文久2(1862)年に日々の勤務出精を賞せられ、従五位下甲斐守に任官します。浪人から大身旗本へ上りつめた瞬間です。ところで、福田道昌に関する資料は長左衛門新田福田家にまともって遺されていますが、なぜ間中村福田家ではなく同家なのか、その経緯は謎です。道昌の跡を継いだ八郎右衛門道直は幕府より英仏語伝習生に選抜され横浜へ派遣された経歴を持ちますが、父親と異なり武官の道を進み、幕府陸軍の騎兵頭並・撤兵頭に就任、江戸開城に反対し撤兵隊2,000を率いて江戸脱出、戊辰戦争を戦います。



▲宣旨(従五位下甲斐守に任官)

三和資料館

古河市にゆかりのある小説や人物を紹介

古河文学・人物館

芳流閣の決闘～南総里見八犬伝～

全98巻106冊という日本古典文学史上最長の作品といえど、これですぐに答えが出てきた人は、かなりの文学通でしょう。では、次のヒント。「仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌」の八つの玉を有し、姓に「犬」の字を持つ八犬士が活躍する伝奇小説といえど……

もうお分かりでしょう。今回は、戦国時代初期の関八州を舞台とした壮大な長篇読本『南総里見八犬伝』をご紹介します。

作者は江戸時代を代表する戯作者・曲亭馬琴(1767-1848 本名・滝沢興邦)、『椿説弓張月』など数多くの作品を残しましたが、とりわけ、文化

11(1814)年から天保13(1842)年までの28年間にわたって刊行された『八犬伝』は、まさに馬琴畢生の大作といえます。



▲三代豊国画「犬塚信乃」「犬飼現八」

ところで、『八犬伝』に古河が登場するのをご存じですか？ 宝刀「村雨丸」を古河公方へ献上しに来た犬塚信乃と、捕物名人・犬飼現八が御所内の芳流閣において戦う場面は、前半のハイライトの一つとして名高く、錦絵にもよく描かれました。

現在、文学館では、スポット展示「古河城芳流閣の決闘 ～南総里見八犬伝～」を開催、錦絵や初版本等の資料を通して『八犬伝』の世界を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

古河文学館 秋澤正之

認知症の予防のためには、食事や運動、休養といった病気にならないための生活習慣を身につけていくことはもちろん、意識して脳を使う生活も大切です。積極的に脳を使う事で脳の活性化を図り、認知症を予防したり、発症を遅らせたりする事ができます。

ら次にうつるのではなく、いくつかのことを同時に行うようにしましょう



① 「計画力」を鍛えましょう！

認知症になると、旅行の行程や料理の手順など、目標や計画を立てて行動する事ができなくなります。

鍛えるには▶ 自分で旅行や日帰りのお出掛けなどの計画を立て実際に行ってみたり、いつもとは違うお店への道順を考え、買い物に行ってみる事も、良いトレーニングになります。

② 「注意分散機能」を鍛えましょう！

認知症になると魚を焼きながら煮物を作るなど、二つ以上の事に注意を配りながら同時に行う事が難しくなります。

鍛えるには▶ 料理や掃除等の家事が良いトレーニングになります。一つのことを済ませてか

③ 「エピソード記憶力」を鍛えましょう！

出来事を記憶し、またそれを思い出す機能です。認知症になると少し前の出来事の記憶があやふやになり、家計簿や日記が付けられなくなったり、過去の経験を思い出せなくなります。

鍛えるには▶ 食べた物や買った物を毎日、日記に書きとめてみましょう。慣れてきたら一昨日の出来事を日記に書く「2日遅れの日記」に挑戦しましょう。時間をさかのぼる事で「いつ・どこで・なにをした」というエピソード記憶が鍛えられます。



④ 「思考力」を鍛えましょう！

思考力を鍛えると、認知症の発症を遅らせる効果が期待できます。

鍛えるには▶ 囲碁や将棋、数読、クロスワードパズルなど頭を使うゲームも効果的です。

今日からあなたも、積極的に脳を使い「脳のいきいき生活」を始めましょう！

脳トレにチャレンジ

次の漢字を読めますか？
ヒント：野菜の名前です！

- ①人参
- ②南瓜
- ③西瓜
- ④菠薐草
- ⑤玉蜀黍

※答えは19ページにあります。



高齢福祉課

憩いのパークの魅力

公園の青い宝石

8月のうだるような暑さの中、ネーブルパークの水辺からは、子どもたちの水遊びに興じる元気な歓声が聞こえてきます。子どもたちにとって水辺は、魅力的な遊び場です。

しかし、水辺にいるのは、子どもたちだけではありません。早朝、芝生広場を囲む池の岩から水面をジッとにらんでいる鳥がいます。キラキラ光るコバルトブルーの色鮮やかな羽根を持



▲ネーブルパークのカワセミ
(小川正さん撮影)

つ鳥、それは「カワセミ」です。その羽根の色から別名「青い宝石」と呼ばれ、一度見たら忘れられない印象を持つ鳥です。カワセミは、水辺に生息し魚類などを捕食して生活する留鳥(1年中同じ場所に留まって生息する鳥)で、ネーブルパークでは、菖蒲池や芝生広場の池、つり掘、公園の南側を流れる東磯川などで巡回中によく見かけます。公園に来る人からは、「そんな鳥、どこにいるの?」とよく聞かれるのですが、カワセミ

を見るには、ちょっとしたコツを知らないとなかなか見られない様です。

今回は、その「コツ」を伝授します。

①時間帯は、早朝か夕方

よく見かける時間帯は人の少ない早朝か夕方です。

②水面を横切る影に注目

水面をスーッと横切って魚の捕食ポイントに移動します。

③見つけたら忍び足で

見つけてもうれしさのあまり駆け寄ってはいけません。ゆっくり近寄って見ましょう。

以上がコツです。皆さんも早起してカワセミを見に来ませんか。もし見つけることができたなら、その日一日得した気分になることうけ合いです。でも、見つけてもそっと見守ってあげてくださいね。

【問】ネーブルパーク管理事務所

☎92-7300 ☎92-9090

✉ navel-park@koga-kousya.or.jp

🌐 <http://www.koga-kousya.or.jp/navel-park/index.html>

表紙写真



毎年8月14日、15日の2日間、古河歴史博物館・古河文学館・鷹見泉石記念館を会場に「夢あんどんと夕涼み」が行われています。市民の皆さんの作ったあんどんを飾り、幻想的な雰囲気や、各種イベントを行い訪れた人たちを楽しませます。今年も皆さんが丹精込めて描いたあんどんに灯りがともり、真夏の夜を彩る光を放ちます。ぜひ、ひと夏の思い出に家族で訪れてみてはいかがでしょうか。(写真は今年の「夢あんどんと夕涼み」)

寄付



古河地区危険物安全協会(齊藤一恵会長)より10万円の寄付。

古河市電設業協会(齋藤廣治会長)より市内公共施設に設置するAED(自動体外式除細動器)の寄付。

古河市データ

人口



(7月1日現在) 住民基本台帳から
総人口…144,142人 (+1)
男……………72,325人 (+21)
女……………71,817人 (-20)
世帯数…55,592世帯 (+39)
()内は前月比

18ページの答え

①ニンジン②カボチャ③スイカ
④ホウレンソウ⑤トウモロコシ

わが家のアイドル



さくらい ゆき な
桜井優紀奈ちゃん (2歳7カ月・けやき平)

歌と踊りが大好きでちょっぴり照れ屋な優紀奈♡
「大きくなったらミッキーになりたい!」とお尻をフリフリする姿には家族みんながメロメロ♡
「あっ!」と驚くようないたずらをして、パパやママを困らせることもあるけれど「ごめんなさい」の一言で許してしまうかわいい(わがまま)娘♡
これからたくさんのお友達と出会い、ミッキーのように誰にでも優しく、みんなを笑顔にできるお姉さんになってね!

今月の料理

鶏の梅風味丼

< 高血圧予防食 >



- ①レタス6枚は、一口大に手でちぎる。大葉4枚は千切りに、玉ネギ2/3個は薄切りにする。
- ②鶏もも肉400gは一口大に切る。梅干し大2個分の梅肉・しょうゆ小さじ4・みそ大さじ1・砂糖小さじ2・薄力粉小さじ4を合わせたものに、鶏肉を漬け込む。
- ③鍋に油小さじ2をひいて強火にかけ、玉ネギをしんなりするまで炒めたら火を中火にし、鶏もも肉を加えて火が通るまで炒める
- ④丼ぶりに、ご飯1人150g・レタス・③の具材を盛り、上に大葉を散らす。

<4人分>

<1人分>

エネルギー=453kcal
タンパク質=29.2g
脂質=7.7g
カルシウム=38mg
食塩相当量=2.0g



日々奮闘!



子育てアドバイス

「親子でスキンシップ」

～たくさん触れ合いましょう～

「わが子とスキンシップ」
と思っても、まだ幼いとい
体どんなことをして遊べ
ばいいのだろうか? スキン
シップってどうしたらいい
のだろうか? と、迷ってし
まうことはありませんか?
難しく考えることはありません
せん。とにかくわが子に
触ってあげましょう。肌と
肌の触れ合いこそが心地よ
い刺激となり、生命力を活
発にし、心の安定と体の発
育に良い影響を与えます。
大好きなお母さんやお父
さんに優しく触れられるこ
とで、赤ちゃんは安らぎを
得ることが出来ます。オム
ツ替えのときに、ちよつと
両足を揺らしてみ。足の
付け根をマッサージする。
など、それだけでもいいの
です。
そのうちに大人から触れ
るだけでなく、互いに触れ
合いながら遊べるようにな
ります。
○0歳～1歳児
「いないいないばあ」や「こ
ちよこちよ」のくすぐりつこ
は、子どもたちは大好きで何



第四保育所

度でも「やって」と要求され
る遊びです。
○1歳～2歳児
成長する中で、自然と音
楽に合わせて手遊び歌を楽
しめるようになっていきま
す。「いとまきのうた」「パ
ンダうさぎコアラ」など、
簡単な動作を繰り返すよう
な遊びがよいでしょう。
○3歳
赤ちゃんではないけれ
ど、触れ合いが大切な時期
です。意識して膝に乗せた
り、抱っこしたりしましよ
う。テレビや園で覚えた歌
と一緒に歌ったり、ジャン
ケン遊びをしたり、どんど
ん触れ合って、子育てを楽
しみましょう。

平成24年8月1日発行

発行所/〒306-0291 茨城県古河市下大野2248
編集/広報室 ●ホームページ/ <http://www.cityibaraki.kogal.jp/>

古河市役所 ☎0280(92) 3111